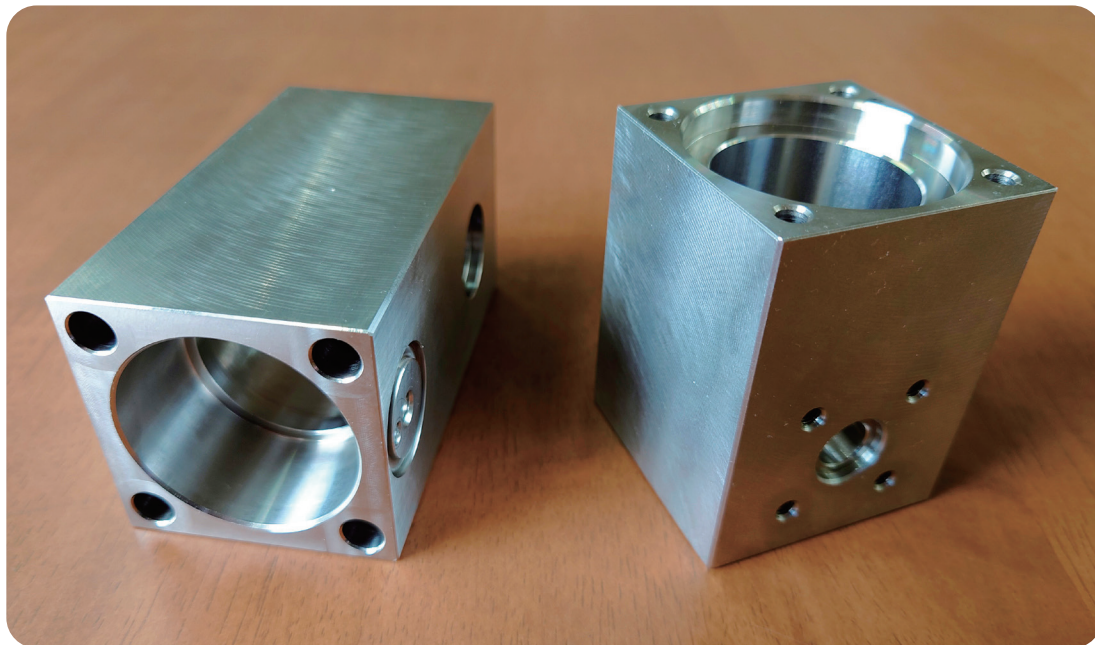


株式会社 四釜製作所

事業名 航空機市場をターゲットとした高精度マシニングセンタの導入による工程集約の構築

高精度マシニングセンタの導入で工程集約。原価低減と短納期対応で航空機市場へ



工程集約した加工品

事業の背景・目的

これまでは0.01mmレベルの高精度な寸法が必要な加工品に対応する場合、古い機械のため切削の加工精度が安定せず工程を分けて時間を掛けて精度を確保していた。

本事業において、従来の分割生産プロセスである切削・研削・放電加工の切削を1工程に集約し、リードタイムの大幅な削減を狙い、原価低減と短納期対応を実現させる。この導入をきっかけに最新の高精度マシニングセンタの特徴を習得しつつ、今までの加工ノウハウを生かし、成長市場である航空機の空調機器分野へ参入していく。

事業内容

従来、荒加工後に研削加工、放電加工で精度を確保する、分割生産プロセスで対応していた加工品を、高精度マシニングセンタを導入することにより、工程を集約して切削工程の1工程で精度を保てるようにした。

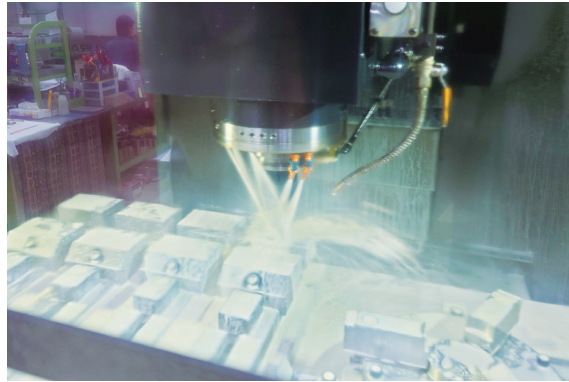
加工条件や治工具等で工程を集約したことで大幅な時間短縮、コスト削減となり、これまでの加工方法の見直しができた。



導入した高精度マシニングセンタ



作業の工程が集約され時短が可能に



新しいマシンでの実績を増やし市場開拓にも期待

事業の成果

工程集約と航空機市場参入を目的として高精度のマシニングセンタを導入した。工程集約についてはリードタイム、原価とも大きく削減できた製品が確実に増えており売上、収益ともにアップしている。

航空機市場参入について引き合いは複数あるが売上には繋がっていない。

今後もさらなるコスト削減を続けると共に、営業活動を続けて受注に繋げていく。

今後の展望

工程集約については長年の切削加工の経験を生かして加工治具のノウハウと高精度のマシニングセンタの性能で目標とするリードタイムと原価の圧縮ができた実感している。

今後は同じ機械の増設、同タイプのひと回り大きいサイズの機械の新設も検討をして、さらなる売上の増加と収益の向上に繋げていきたい。

航空機市場参入についてはコロナ禍ということもあり現時点では現実的ではないが、数年後に実績が残せるように引き続き営業活動을 続けて、まずは試作案件の納入を重ねて、その時に備えたいと考えている。

株式会社 四釜製作所

- 代表者：四釜 雅之
- 設立年：1961年（昭和36年）
- 所在地：山形県長井市成田開一853-4
- 資本金：1,600万円
- 従業員：50名
- TEL：0238-88-2891
- FAX：0238-88-2892
- e-mail：公式HPコンタクトフォーム内にあり
- URL：https://shikama-ss.co.jp/



社屋外観

業務内容

当社の主たる事業は、「モノをつくる為のモノをつくること」である。部品から組み立てまでの全工程・一貫生産を武器に、全国の機械メーカーや開発メーカー様に、オーダーメイドの機械装置を作り提供している。日本のものづくり産業が、今後急速に伸びてくる海外企業に打ち勝っていくには、これまで以上に創造性や先進性の高い製品やサービス、そしてそれを実現する人たちが不可欠である。また、より高度な精密技術や機械装置これまで以上に重要になってくると考えている。